

平成30年5月16日
国土交通省東北地方整備局
小名浜港湾事務所

「小名浜マリブリッジ」の維持管理への取組が 第2回インフラメンテナンス大賞を受賞しました

小名浜マリブリッジは、東港地区の国際物流ターミナルと3号ふ頭地区をつなぐ橋長927mの臨港道路橋で平成29年3月31日に完成しました。

この度、「小名浜マリブリッジ(点検マニュアル)の策定と地域技術者との連携体制構築～使い始める前に考える～」の取組が「インフラメンテナンス大賞の優秀賞」を受賞しましたのでお知らせします。

なお、8月10日(金)に各省の表彰式を各省合同で開催する予定です。

小名浜マリブリッジを供用後も健全な橋の機能を保つためには適切な維持管理が重要であることから、橋梁の施工段階(使い始める前)から管理に関わる事業者、専門家、地域技術者からなる団体と供に「小名浜港東港地区臨港道路維持管理技術検討委員会(構成:国土交通省東北地方整備局小名浜港湾事務所、福島県小名浜港湾建設事務所、ふくしまインフラ長寿命化研究会等)」を立ち上げ、維持管理方法について検討を重ねてきました。

その成果として、「専門家でなくても使えるマニュアル」をコンセプトに、人の目を使い、実感を伴った点検をすることに主眼を置いた点検マニュアルを平成28年3月に作成しました。

また、日常的な点検業務を実施する港湾管理者及び地域技術者との連携体制構築を目指すべく、平成29年3月に点検マニュアルを用いた現場視察会と意見交換会を開催しました。

上記のような検討委員会での取組が評価され、この度「インフラメンテナンス大賞^{*}(メンテナンス実施現場における工夫部門)の優秀賞」の受賞に至りました。

^{*}「インフラメンテナンス大賞」とは、6省(国土交通省・総務省・文部科学省・厚生労働省・農林水産省・防衛省)が主催するもので、日本国内の社会資本のメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的としており、表彰部門として、ア)メンテナンス実施現場における工夫部門、イ)メンテナンスを支える活動部門、ウ)技術開発部門があります。また、今年度は2回目の開催となり全国で205件の応募、32件が受賞しました。

【お問い合わせ先】

国土交通省東北地方整備局小名浜港湾事務所 工務課 佐々木・小山
TEL:0246-53-7102 / FAX:0246-53-2912

【投込先】福島県政記者クラブ、いわき記者クラブ、いわき記者会



写真-1 小名浜マリブリッジ



写真-2 小名浜港東港地区全景



写真-3 現場視察会



写真-4 意見交換会



図-1 小名浜マリブリッジ(点検マニュアル)